



平成 25 年 8 月 7 日

報道関係各位

国立大学法人筑波大学

研究大学強化促進事業の採択について

文部科学省の平成 25 年度「研究大学強化促進事業」の支援対象機関に、筑波大学が提案した「研究力強化実現構想」が決定（年間予定額：3 億円）されました。本事業により、本学における研究力強化を促進し、世界水準の優れた研究活動を行う大学を目指します。

本事業では、文部科学省が事前に選定した大学（27 機関）から提出させた「研究力強化実現構想」の資料及びヒアリングの審査等により 22 大学が決定されたものです。

決定された大学には、今年度から 10 年間（5 年後の評価により継続）以下の予定額が配分されます。

予定額：4 億円程度（4 機関）、3 億円程度（12 機関）、2 億円程度（6 機関）

◆ 背景

近年、我が国の論文数等の国際的シェアは相対的に低下傾向にあり、大学等における研究体制・研究環境の全学的・継続的な改善や、研究マネジメント改革などによる国際競争力の向上が課題となっています。

このような状況を踏まえ、研究力強化の取組を支援・促進することにより、世界水準の優れた研究活動を行う大学群を増強し、もって我が国全体の研究力強化を図っていくことが求められています。

◆ 事業概要

本学の研究活動の状況に関する自己分析を踏まえた、研究力向上に資する集中的な研究環境改革への取組として、①研究戦略や知財管理等を担う研究マネジメント人材（リサーチ・アドミニストレーター等）の確保・活用や、②競争力のある研究の加速化促進のための研究環境整備、③先駆的な研究分野を創り出す研究環境整備、④国際水準の研究環境整備を行うものです。

本学では、これらの取組により、10 年後に世界ランキング 100 位以内を目指します。

本件担当：

筑波大学研究推進部研究企画課長 児島 明佳

TEL：029-853-2921

E-mail：kojima.akiyoshi.fp@un.tsukuba.ac.jp

筑波大学「研究力強化実現構想」

学際融合領域開拓を
推進する研究力



朝永振一郎 元学長
江崎玲於奈 元学長
白川英樹 名誉教授
ノーベル賞受賞者

ゴードン・ベル賞
最高性能賞
(理研、富士通、
筑波大、東大の共同)



睡眠科学 (本学単独)
ナノテク (NIMS MANAに協力)

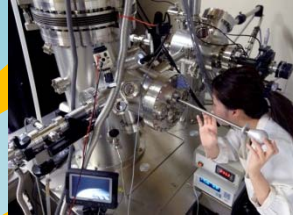
■ 世界ランキング(QS)
203位
(ベンチマーク V1、Q2)

世界トップの研究拠点形成

- ・計算科学研究センター
- ・生命領域学際研究センター

URA30人体制構築

研究設備の共用化



産学官連携体制の強化
つくば国際戦略総合特区

国際科学イノベーション拠点 (慶応大学と共同)



拠点強化形成

研究環境整備

制度改革

少数精鋭型
+ 大規模拠点型
世界ランキング
100位以内

10年後

5年後

他に類を見ない学術分野
(スポーツ医学、体育科学、芸術学)の強化



チーム「ニッポン」マルチサポート事業

筑波大学「研究力強化実現構想」

学長のリーダーシップの下に学内リソースを集約し研究強化推進



研究戦略イニシアティブ推進機構（機構長：学長）

拠点強化形成

- 計算科学研究センター、生命領域学際研究センターを世界トップレベル拠点へ
- ➔ **人事権付与(学則改正)**
- 3つのトップダウン方式の研究拠点形成

3つの重点取組

- ① 国際強化：国際テニュア・トラック
- ② 一流外国人研究者招聘
- ③ 研究時間の質と量保証

研究環境整備

- 研究設備の共用化（オープンファシリティー）
- URA30人体制構築
- 研究スペースの重点的配分

制度改革

- **全学戦略枠**を担保にした**年俸制**の拡充
- 教員の評価軸の構築と研究時間保証
- 産学官連携体制の強化

若手 22.7% ➔ **30%以上**
 女性 15.6% ➔ **25%以上**
 外国人 5.0% ➔ **11%以上**